

七城支部 副支部長

のなか たいし
野中 大嗣

プロフィール

- 就農年数 12年
- 生産品目
花(トルコギキョウ、カスミソウ)
約70a
- 米1.3ha
- 父・昭宏さんと家族経営



米の産地として 子どもたちに食育を



花で暮らしを豊かに 心の癒しに

七城の副支部長をしています。歌丸部長と楽しく明るい組織づくりを目指しています。よろしくお願ひします。

私は自衛隊・スポーツインストラクターを経て、30歳で就農しました。父がカスミソウを主力に経営していたので、花に魅力を感じ、私もやってみたいと思ったのがきっかけです。農業はとにかく天候に左右されます。7～8月の定植の時期に台風が発生しやすいので、花にネットをかけたり、被害を最小限におさえるため、台風対策も慎重に行わなければなりません。今年は、台風の時期も早く、雨も心配ですね。花が病気になるからという、気を付けて栽培したいと思っています。

近年は、暑さによる生育不良が課題です。ハウスに遮熱ビニールなどを使っていますが、それでも暑さによる影響があります。定植期をずらし、新品種の導入など毎年試行錯誤しながら頑張っています。物価高の中、資材費も年々高くなっています。市場にも資材費を見込んだ価格をお願ひしたい



栽培委員のメンバーです！

と思います。このようなご時世で花の購入は後回しにされがちですが、花は暮らしを豊かにしてくれます。心の癒しにもなりますので、より多くの方にその価値を知っていただき、ご家庭でも花に親しみを持つて楽しんでもらいたいです。

農業の楽しさを伝えたい

私は、就農と同時に青壮年部に加入しました。同年代の盟友が多いので、気兼ねなく何でも話ができる組織だと思います。七城支部は、産地としてお米の大切さ、魅力を感じてもらおうとさまざまな食育活動をしています。地元の保育園に対し「おにぎりの絵コン

クール」を実施し、七城中央支所の感謝祭で表彰しています。小学校では、毎年米づくりを種まきから行い、青壮年部栽培委員が稲作指導をしています。夏休みも子どもたちが管理します。私も今年から栽培委員となり、子どもたちと活動をしています。自分で植えた苗が育ち、自分の口に入る経験はなかなかできるものではないので、農業の楽しさや食のありがたさをしっかり感じてもらいたいと思います。子どもたちに、米どころとして地元を誇りに思ってもらえるよう、しっかり食育活動を頑張ります。青壮年部の活動は、地元貢献できる大切な取り組みです。これからも若い世代と一緒に農業を盛り上げていきたいです。



事務局 山口職員